

L-ガラクトノラクトン脱水素酵素

Cat. No. EXWM-1370

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 この酵素は、高等植物および哺乳類と一部の鳥類を除くほぼすべての高等動物におけるL-アスコルビン酸の生合成の最終段階を触媒します。この酵素は基質であるL-ガラクトノ-1,4-ラクトンに特異的に作用し、非常に特異的であり、D-ガラクトノ-γ-ラクトン、D-グルオノ-γ-ラクトン、L-グルオノ-γ-ラクトン、D-エリスロニック-γ-ラクトン、D-キシロニック-γ-ラクトン、L-マンノノ-γ-ラクトン、D-ガラクトネート、D-グルクロン酸およびD-グルコン酸は基質ではありません。FAD、NAD⁺、NADP⁺およびO₂（参照: EC 1.3.3.12、L-ガラクトノラクトンオキシダーゼ）は電子受容体として機能することはできません。

別名 ガラクトノラクトン脱水素酵素; L-ガラクトノ-γ-ラクトン脱水素酵素; L-ガラクトノ-γ-ラクトン:フェリシトクロム-c 酸化還元酵素; GLDHase; GLDase

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 1.3.2.3

CAS登録番号 9029-02-1

反応 L-ガラクトノ-1,4-ラクトン + 4 フェリシトクロム c = L-デヒドロアスコルビン酸 + 4 フェロシトクロム c + 4 H⁺ (全体反応); (1a) L-ガラクトノ-1,4-ラクトン + 2 フェリシトクロム c = L-アスコルビン酸 + 2 フェロシトクロム c + 2 H⁺; (1b) L-アスコルビン酸 + 2 フェリシトクロム c = L-デヒドロアスコルビン酸 + 2 フェロシトクロム c + 2 H⁺ (自発的)

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。